

53-A-051 骨について正しいのはどれか。2 つ選べ。

1. 長骨の骨幹には髓腔がある。
2. 骨には緻密骨と海綿骨がある。
3. 骨芽細胞は骨吸収に関与している。
4. 骨の関節面は滑膜で覆われている。
5. 骨膜は骨の長軸方向の成長に関わる。

53-A-052 運動軸が 2 つの関節はどれか。

1. 手指 PIP 関節
2. 橈骨手根関節
3. 腕尺関節
4. 上橈尺関節
5. 肩甲上腕関節

53-A-053 外側腋窩隙を構成する筋はどれか。

1. 棘上筋
2. 棘下筋
3. 広背筋
4. 大円筋
5. 肩甲下筋

53-A-054 錐体路について誤っているのはどれか。

1. 大脳の運動皮質から始まる。
2. 大脳の基底核を経由する。
3. 大脳脚を経由する。
4. 大多数は延髄で交差する。
5. 脊髄の前角でシナプスを形成する。

53-A-055 内頸動脈から直接分岐しないのはどれか。

1. 眼動脈
2. 前大脳動脈
3. 中大脳動脈
4. 前交通動脈
5. 後交通動脈

53-A-056 筋と支配神経の組み合わせで正しいのはどれか。2 つ選べ。

1. 円回内筋——尺骨神経
2. 深指屈筋——橈骨神経
3. 長掌筋——正中神経
4. 長母指伸筋——後骨間神経
5. 腕橈骨筋——前骨間神経

53-A-057 リンパ系について正しいのはどれか。2 つ選べ。

1. 脾臓はリンパ液を濾過する。
2. 胸管は右鎖骨下静脈に流入する。
3. 腸管由来のリンパ液を乳糜という。
4. リンパ管には弁機構が存在しない。
5. 右下肢のリンパ液は胸管に流入する。

53-A-058 呼吸器の解剖について正しいのはどれか。

1. 細気管支には軟骨がある。
2. 胸膜腔は吸気時に拡大する。
3. 肺の栄養血管は肺動脈である。
4. 肺尖は鎖骨と同じ高さに位置する。
5. 右主気管支は左主気管支よりも短い。

53-A-059 解剖学的“嗅ぎたばこ入れ”で触診できるのはどれか。

1. 月状骨
2. 三角骨
3. 舟状骨
4. 小菱形骨
5. 有頭骨

53-A-060 細胞内小器官の働きで正しいのはどれか。

1. 滑面小胞体は ATP を合成する。
2. Golgi 装置は蛋白質を修飾する。
3. ミトコンドリアはグリコーゲンを分解する。
4. ライソソームは蛋白質を合成する。
5. リボソームは細胞内の物質を分解する。

53-A-061 反射と脳神経の組み合わせで正しいのはどれか。

1. 角膜反射——視神経
2. 対光反射——動眼神経
3. 前庭動眼反射——三叉神経
4. 下顎反射——顔面神経
5. 咽頭反射——副神経

53-A-062 伸張反射について正しいのはどれか。

1. 侵害受容反射である。
2. 単シナプス反射である。
3. 求心性線維は I b 群線維である。
4. 遠心性線維は γ 運動線維である。
5. 筋紡錘内の錘内線維を支配するのは α 運動線維である。

53-A-063 運動単位について正しいのはどれか。

1. 運動単位には求心性線維が含まれる。
2. 1つの筋は単一の運動単位で構成される。
3. 神経支配比が小さいほど微細な運動ができる。
4. 随意運動時には大きな運動単位ほど先に活動を始める。
5. 伸張反射では弱い刺激で活動を開始するのは速筋である。

53-A-064 抗体を産生するのはどれか。

1. 好酸球
2. 好中球
3. 好塩基球
4. 形質細胞
5. マクロファージ

53-A-065 胆汁について正しいのはどれか。

1. 脂肪の吸収を抑制する。
2. 消化酵素が含まれる。
3. 食物の摂取によって分泌が増加する。
4. 胆汁酸塩の大部分は大腸で再吸収される。
5. 胆嚢で産生される。

53-A-066 排尿機構について正しいのはどれか。

1. 排尿時には内尿道括約筋が収縮する。
2. 膀胱に尿が溜まり始めるとすぐに尿意を感じる。
3. 尿道を尿が通る知覚は排尿筋の収縮を抑制する。
4. 膀胱括約筋はノルアドレナリンの作用で収縮する。
5. 排尿を我慢するときには大脳皮質からの抑制がかかる。

53-A-067 副甲状腺ホルモンで正しいのはどれか。

1. 骨吸収を促進する。
2. 好酸性細胞で分泌される。
3. リンの再吸収を促進する。
4. 重炭酸イオンの再吸収を促進する。
5. 遠位尿細管でカルシウムの再吸収を抑制する。

53-A-068 摂食嚥下の際の運動で正しいのはどれか。

1. 嚥下後の呼吸は吸気から再開される。
2. 口腔内の食塊は反射運動で咽頭へ送られる。
3. 嚥下反射が起こると舌骨は下方に移動する。
4. 食塊の咽頭への送り込み時に口蓋帆張筋が緊張する。
5. 食塊の食道への送り込み時に輪状咽頭筋が収縮する。

53-A-069 等張性運動について正しいのはどれか。

1. 角速度は一定である。
2. 等尺性運動に比べ血圧が上昇しやすい。
3. 等尺性運動に比べ収縮時の筋血流が増加しやすい。
4. 等尺性運動に比べ心拍数が増加しやすい。
5. 負荷に抗して姿勢を維持するとき起こる。

53-A-070 頸椎の伸展に作用する筋はどれか。

1. 頸長筋
2. 頭長筋
3. 頸板状筋
4. 後斜角筋
5. 前頭直筋

53-A-071 肩甲骨の下方回旋に作用する筋はどれか。

1. 前鋸筋
2. 小胸筋
3. 小円筋
4. 棘下筋
5. 鎖骨下筋

53-A-072 正常な膝関節を屈曲したときの最終域感で正しいのはどれか。

1. 虚性
2. 筋性
3. 骨性
4. 靭帯性
5. 軟部組織性

53-A-073 足の外側縦アーチを形成するのはどれか。2つ選べ。

1. 踵骨
2. 距骨
3. 舟状骨
4. 立方骨
5. 中間楔状骨

53-A-074 正常歩行について正しいのはどれか。

1. 肩関節は同側の踵接地時に最大屈曲位となる。
2. 膝関節は踵接地直後に伸展する。
3. 骨盤は水平面において回旋運動をする。
4. 骨盤は前額面において水平に保たれる。
5. 骨盤は遊脚側へ側方移動する。

53-A-075 運動時の生体反応で正しいのはどれか。

1. 冠血流は低下する。
2. 腎血流は増加する。
3. グリコーゲン分解が促進される。
4. 尿へのナトリウム排泄は促進される。
5. 酸素含有量の動静脈較差は減少する。

53-A-076 歩行障害がある患者の頭部 MRI の T1 強調冠状断像を示す。腰椎穿刺を行い髄液を排出させたところ、歩行障害が改善した。最も考えられるのはどれか。



1. Parkinson 病
2. 正常圧水頭症
3. 脳梗塞
4. 脳出血
5. 慢性硬膜下血腫

53-A-077 熱傷について正しいのはどれか。

1. 第Ⅰ度熱傷では熱感はみられない。
2. 浅達性第Ⅱ度熱傷では瘢痕を残す。
3. 深達性第Ⅱ度熱傷では水疱底は発赤している。
4. 第Ⅲ度熱傷では疼痛が著明である。
5. 鼻咽腔に煤が見られたときは気道熱傷が疑われる。

53-A-078 非ステロイド性抗炎症薬 (NSAIDs) の副作用として正しいのはどれか。

1. 胃潰瘍
2. 低血糖
3. 多幸感
4. 骨粗鬆症
5. 中心性肥満

53-A-079 欲求を満たせないときに、正反対の欲求を発生させ心的平等を保とうとする防衛機制はどれか。

1. 抑圧
2. 否認
3. 行動化
4. 合理化
5. 反動形成

53-A-080 古典的条件付けの原理を用いた治療法はどれか。

1. 曝露法
2. 認知再構成法
3. トークンエコノミー法
4. セルフモニタリング法
5. 社会生活技能訓練 (SST)

53-A-081 作動記憶〈ワーキングメモリー〉の説明として適切なのはどれか。

1. 数日間保持される。
2. 非宣言的記憶の1つである。
3. 技能の記憶として機能する。
4. 生活史の記憶として機能する。
5. 情報の処理と保持を同時に行う。

53-A-082 運動制御における小脳の役割で正しいのはどれか。

1. 一連の動作の企画
2. 運動プランの切り替え
3. 記憶に基づく運動の修飾
4. 視覚情報を運動指令に変換
5. 自発的な行為のプログラミング

53-A-083 脊髄ショック期の徴候として正しいのはどれか。

1. 温痛覚解離
2. 痙性四肢麻痺
3. 肛門括約筋反射消失
4. 深部腱反射亢進
5. 排尿反射亢進

53-A-084 脊髄損傷の機能残存レベルと可能な動作の組合せで正しいのはどれか。

1. C4——万能カフを用いた食事
2. C5——前方移乗
3. C6——撓側 - 手掌握り
4. C7——更衣
5. C8——長下肢装具での歩行

53-A-085 Fallot 四徴症で起こる血管異常はどれか。

1. 大動脈騎乗
2. 大動脈狭窄
3. 冠動脈狭窄
4. 肺静脈閉塞
5. 肺動脈弁逆流

53-A-086 スパイトメトリーで計測できないのはどれか。

1. 1秒量
2. 予備吸気量
3. 1回換気量
4. 最大吸気量
5. 機能的残気量

53-A-087 関節リウマチについて正しいのはどれか。

1. 股関節などの大関節に初発する。
2. 間質性肺炎を合併することが多い。
3. 罹患関節の症状は非対称性に現れる。
4. 半数以上にリウマトイド結節が認められる。
5. 血清アルカリフォスファターゼが高値となる。

53-A-088 免疫不全によって生じやすい疾患はどれか。

1. 肝性脳症
2. ペラグラ脳症
3. Wernicke 脳症
4. トキソプラズマ症
5. Creutzfeldt-Jakob 病

53-A-089 Lewy 小体型認知症に伴うことが多いのはどれか。

1. 幻視
2. 失語症
3. 高血圧
4. 聴覚障害
5. 入眠障害

53-A-090 Guillain-Barré 症候群について正しいのはどれか。

1. 50%以上で再発する。
2. 脱髄型と軸索型がある。
3. アルコール多飲が原因である。
4. ビタミン B₁ 欠乏によっておこる。
5. 歩行可能まで回復する症例は 25%以下である。

53-A-091 Duchenne 型筋ジストロフィーの呼吸障害について正しいのはどれか。

1. 咳をする力は保たれる。
2. 口すぼめ呼吸が有効である。
3. 側弯症は呼吸機能に影響しない。
4. 動脈血二酸化炭素分圧が上昇する。
5. 呼吸不全は5歳以下から生じることが多い。

53-A-092 腎不全における透析療法について正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 透析対象者数は年々増加傾向にある。
2. 血液透析よりも腹膜透析の割合が多い。
3. 昼間透析よりも夜間透析の割合が多い。
4. 透析導入の原因疾患は糖尿病性腎症が最も多い。
5. 透析対象者の死亡原因として肝不全が最も多い。

53-A-093 糖尿病の運動療法で正しいのはどれか。

1. 食後すぐに運動を開始する。
2. 冷汗は高血糖発作の予兆である。
3. インスリン投与中は運動療法を中止する。
4. 空腹時血糖値が高いほど運動量を増やす。
5. 増殖性網膜症がある場合には運動強度を軽くする。

53-A-094 乳癌について正しいのはどれか。

1. 月経前に疼痛が増悪する。
2. 好発部位は乳房の外側上部である。
3. 好発年齢は20歳代である。
4. 5年生存率は40%前後である。
5. 我が国における発症率は欧米の3倍である。

53-A-095 介護保険について正しいのはどれか。

1. 要介護認定の申請は都道府県に対して行う。
2. 65歳未満では給付を受けられない。
3. 要介護認定には主治医意見書が必要である。
4. 要介護状態区分等は要支援と要介護を合わせて6段階である。
5. ケアプランを作成できるのはケアマネジャーのみである。

53-A-096 高齢初発てんかんについて正しいのはどれか。

1. 突発性てんかんが多い。
2. 患者数は減少傾向にある。
3. 部分発作を呈することが多い。
4. てんかん重積状態に至ることはない。
5. 抗てんかん薬が無効であることが多い。

53-A-097 器質性精神障害について正しいのはどれか。

1. 妄想はみられない。
2. 安定した人格を認める。
3. 記憶障害はみられない。
4. 抗精神病薬は投与しない。
5. 心理的要因の影響を受ける。

53-A-098 ベンゾジアゼピン系睡眠薬の依存について正しいのはどれか。

1. 中高年者にはみられない。
2. 身体依存は形成されない。
3. 離脱症状としてせん妄がある。
4. 常用量であれば依存は形成されない。
5. 作用時間の長い薬剤の方が依存を形成しやすい。

53-A-099 「自分がやっていることなのに、自分がやっている感じがしない」と訴える患者の症状はどれか。

1. 恐怖症
2. 拒絶症
3. 離人症状
4. 心気症状
5. 感情鈍麻

53-A-100 親しい人間関係を構築できず、奇異な考え方や風変わりな行動が継続してみられ、パーソナリティ障害を指摘された。

最も考えられるのはどれか。

1. 演技性パーソナリティ障害
2. 依存性パーソナリティ障害
3. 統合失調型パーソナリティ障害
4. 猜疑性〈妄想性〉パーソナリティ障害
5. シゾイド〈統合失調質〉パーソナリティ障害

53-P-051 股関節で正しいのはどれか。

1. 顆状関節である。
2. 大腿骨頸部は関節包外にある。
3. 寛骨臼は前外側を向いている。
4. 寛骨臼は腸骨のみで構成される。
5. 腸骨大腿靭帯が関節包後面から補強している。

53-P-052 脊柱管の前壁に沿って走行する靭帯はどれか。

1. 黄色靭帯
2. 棘間靭帯
3. 棘上靭帯
4. 後縦靭帯
5. 前縦靭帯

53-P-053 大脳の領野と部位の組合せで正しいのはどれか。

1. 一次運動野——前頭葉
2. 一次体性感覚野——側頭葉
3. 聴覚野——頭頂葉
4. Broca 野——側頭葉
5. Wernicke 野——後頭葉

53-P-054 中脳について誤っているのはどれか。

1. 黒質は被蓋と大脳脚との間に位置する。
2. 皮質脊髄路は被蓋を通過する。
3. 上小脳脚で小脳に連絡する。
4. 大脳脚は腹側に位置する。
5. 中脳蓋は背側に位置する。

53-P-055 視神経から視覚野に至る視覚伝導路の順で正しいのはどれか。

1. 視索→視交叉→視放線→外側膝状体
2. 視索→視放線→外側膝状体→視交叉
3. 視交叉→視索→外側膝状体→視放線
4. 視放線→視交叉→視索→外側膝状体
5. 視交叉→外側膝状体→視索→視放線

53-P-056 デルマトームと支配髄節の組合せで正しいのはどれか。

1. 母指——第3頸髄節
2. 乳頭——第4胸髄節
3. 臍——第8胸髄節
4. 膝——第1腰髄節
5. 肛門——第1仙髄節

53-P-057 後腹膜腔に存在しないのはどれか。

1. 横行結腸
2. 腎臓
3. 十二指腸
4. 脾臓
5. 副腎

53-P-058 泌尿器の解剖について正しいのはどれか。

1. 膀胱括約筋は平滑筋である。
2. 膀胱尖には膀胱三角が位置する。
3. 膀胱底は膀胱の前方に位置する。
4. 尿管は総腸骨動脈の後方を通る。
5. 尿管壁は粘膜と外膜の2層からなる。

53-P-059 平衡聴覚器の構造で正しいのはどれか。

1. 鼓室は外耳にある。
2. 骨迷路は内耳にある。
3. 耳管は内耳にある。
4. ツチ骨は中耳にある。
5. 膜迷路は中耳にある。

53-P-060 動脈と脈拍の触知部位との組合せで正しいのはどれか。

1. 浅側頭動脈——外耳孔の後方
2. 総頸動脈——胸鎖乳突筋の外縁
3. 上腕動脈——上腕遠位部の上腕二頭筋腱の外側
4. 大腿動脈——鼠径部の腸腰筋の外側
5. 足背動脈——足背の長母指伸筋腱と長指伸筋腱の間

53-P-061 骨格筋の構造で筋収縮時に長さが一定なのはどれか。2つ選べ。

1. A 帯
2. H 帯
3. I 帯
4. Z 帯
5. 筋節

53-P-062 視覚について正しいのはどれか。

1. 一次視覚野は側頭葉にある。
2. 視細胞の杆体は色覚を司る。
3. 空間分解能は前視野で均一である。
4. 暗順応は明順応より速やかに行われる。
5. 毛様体筋は近くを見るときに収縮する。

53-P-063 副交感神経の作用で収縮する筋はどれか。

1. 立毛筋
2. 排尿筋
3. 血管平滑筋
4. 瞳孔散大筋
5. 内肛門括約筋

53-P-064 胃での栄養素の消化・吸収で正しいのはどれか。

1. ペプシンは脂肪を分解する。
2. セクレチンは胃液分泌を促進する。
3. 内因子はビタミン B₁₂ の吸収に関与する。
4. 胃内の停滞時間は糖類より脂肪の方が長い。
5. 胃液分泌の増加は食物が胃に到達してから起こる。

53-P-065 排便機構について正しいのはどれか。

1. 排便時には横隔膜が弛緩する。
2. 排便に関与する神経は下殿神経である。
3. 直腸平滑筋と内肛門括約筋は同時に収縮する。
4. 直腸壁が加圧されると骨盤神経が刺激される。
5. 直腸の収縮を促す神経伝達物質はアドレナリンである。

53-P-066 エリスロポエチンの産生を促進するのはどれか。

1. 血圧の低下
2. 血糖値の低下
3. 腎機能の低下
4. 動脈血酸素分圧の低下
5. 血中カルシウム濃度の低下

53-P-067 ホルモン分泌について正しいのはどれか。

1. プロラクチンは乳腺から分泌される。
2. 卵胞刺激ホルモンは視床下部から分泌される。
3. エストロゲンは下垂体ホルモン分泌を促進する。
4. 黄体化ホルモンはプロゲステロンの分泌を促進する。
5. 性腺刺激ホルモン放出ホルモンは下垂体から分泌される。

53-P-068 心電図の波形で正しいのはどれか。

1. P 波は His 束の興奮を意味する。
2. PR 間隔は房室伝導時間である。
3. QRS 波は Purkinje 線維の興奮を意味する。
4. ST 間隔は心室内興奮到達時間である。
5. T 波は心室の脱分極を意味する。

53-P-069 随意運動の制御に関与する部位はどれか。

1. 海馬
2. 歯状核
3. 松果体
4. 青斑核
5. 扁桃核

53-P-070 咀嚼筋はどれか。2つ選べ。

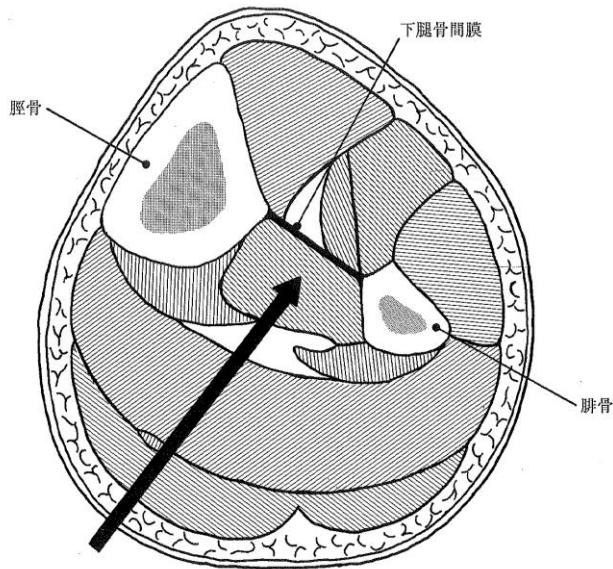
1. 咬筋
2. 側頭筋
3. 口輪筋
4. 小頬骨筋
5. オトガイ筋

53-P-071 肩関節外転 90 度で水平屈曲に作用する筋はどれか。

1. 広背筋
2. 大円筋
3. 棘下筋
4. 烏口腕筋
5. 肩甲挙筋

53-P-072 下腿中央の横断面を図に示す。

矢印の筋の作用で正しいのはどれか。2つ選べ。



1. 膝関節の屈曲
2. 足の底屈
3. 足の内がえし
4. 母指の屈曲
5. 第2～5指の屈曲

53-P-073 安静時の呼吸運動で正しいのはどれか。

1. 呼気時に腹圧は上昇する。
2. 吸気時に横隔膜は下降する。
3. 呼気時に外肋間筋は収縮する。
4. 吸気時に気道抵抗は上昇する。
5. 胸郭下部は前後方向の動きが左右方向より大きい。

53-P-074 運動学習について正しいのはどれか。

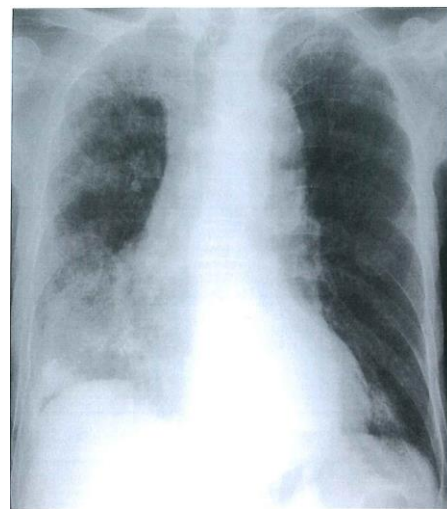
1. 動機付けが高いほどパフォーマンスが向上する。
2. 覚醒レベルが高いほどパフォーマンスが向上する。
3. 学習によるパフォーマンスの向上は直線的に起こる。
4. 2種類の運動課題間に類似性があるほど転移の影響は大きくなる。
5. パフォーマンスの向上がみられなくなることは運動学習の停止を意味する。

53-P-075 正常細胞と比較したときの悪性腫瘍細胞の特徴はどれか。

1. 増殖が遅い。
2. 分化の程度は低い。
3. 染色体異常は少ない。
4. 核分裂の頻度は少ない。
5. 核/細胞質比は小さい。

53-P-076 訓練開始時に熱感があり、体温は 38.5℃であった。胸部を聴診したところ右下肺野に水泡音が聞かれた。この患者のエックス線写真を示す。最も考えられるのはどれか。

1. 喘息
2. 大葉性肺炎
3. 突発性肺線維症
4. 慢性閉塞性肺疾患
5. びまん性汎細気管支炎



右

左

53-P-077 ショックの発症初期に徐脈がみられるのはどれか。

1. アナフィラキシー反応
2. 血管迷走神経反射
3. 重傷熱傷
4. 大量出血
5. 敗血症

53-P-078 Eriksonによる発達段階で学童期に獲得すべき課題はどれか。

1. 勤勉性
2. 積極性
3. 自立性
4. 親密性
5. 同一性

53-P-079 中学生の心理発達における特徴はどれか。

1. 性の相違を理解する。
2. 自我同一性が完成する。
3. 教師や指導者に従順である。
4. 第二次性徴への戸惑いがある。
5. 友人関係より親子関係を重視する。

53-P-080 訓練療法でないのはどれか。

1. 森田療法
2. シェイピング
3. 認知行動療法
4. 系統的脱感作法
5. 来談者中心療法

53-P-081 無意識的な葛藤を洞察して精神症状を和らげようとするのはどれか。

1. 催眠療法
2. 行動療法
3. 芸術療法
4. 自律訓練法
5. 精神分析療法

53-P-082 失語症分類と特徴の組合せで正しいのはどれか。

	失語症	流暢性	理解
1.	Broca 失語	非流暢	軽～中等度の障害
2.	Wernicke 失語	流暢	良好
3.	健忘失語	非流暢	良好
4.	超皮質性運動失語	流暢	重度の障害
5.	伝導失語	非流暢	中等～重度の障害

53-P-083 FIM で 4 点（最小介助）となるのはどれか。

1. アームスリングをつけてもらっている。
2. 食器に残った食べ物をかき集めてもらう。
3. 移乗時に介助者から軽く引き上げてもらう。
4. トイレットペーパーをあらかじめ折ってもらう。
5. シャワーを浴びる前にお湯の温度を調節してもらう。

53-P-084 廃用症候群によって低下しないのはどれか。

1. 筋力
2. 肺活量
3. 心拍数
4. 身体活動性
5. 胃腸管運動

53-P-085 知能検査はどれか。

1. ADHD-RS 〈attention deficit hyperactivity disorder rating scale〉
2. CARS 〈childhood autism rating scale〉
3. JDDST-R 〈改訂日本版デンバー発達スクリーニング検査〉
4. PEP-3 〈psychoeducational profile-3rd edition〉
5. WISC-III

53-P-086 変形性膝関節症の進行に伴う関節構成体の変化で正しいのはどれか。

1. 滑膜の肥厚
2. 骨嚢胞の消失
3. 軟骨下骨の肥厚
4. 関節裂隙の拡大
5. 関節靭帯の緊張

53-P-087 脳卒中後の肩手症候群について正しいのはどれか。

1. 運動麻痺重症例よりも軽症例に多い。
2. 女性の発症率は男性の約2倍である。
3. 脳卒中発症後6か月以降に生じる。
4. 発症頻度は40%程度である。
5. 複合性局所疼痛症候群 type I に分類される。

53-P-088 Parkinson 病について正しいのはどれか。

1. 喫煙者に多い。
2. 再発と寛解とを繰り返す。
3. 孤発性症例が家族性症例より多い。
4. 30～40歳代での発症が最多である。
5. 我が国の有病率は Alzheimer 病より多い。

53-P-089 皮膚筋炎について正しいのはどれか。

1. 先行感染を伴う。
2. 悪性腫瘍を伴う。
3. 胸腺腫を合併する。
4. 嚥下障害はきたさない。
5. 遠位筋優位の筋力低下をきたす。

53-P-090 神経麻痺と起こり得る症状の組合せで正しいのはどれか。

1. 腋窩神経麻痺——下垂指
2. 肩甲上神経麻痺——phalen 徴候
3. 前骨間神経麻痺——涙滴徴候
4. 大腿神経麻痺——下垂足
5. 副神経麻痺——翼状肩甲

53-P-091 胃癌について正しいのはどれか。

1. 噴門部に好発する。
2. 放射線療法が有効である。
3. 組織型でも最も多いのは腺癌である。
4. 我が国では発症率が増加している。
5. 我が国の悪性腫瘍による死因の第一位である。

53-P-092 末梢血に大型の赤血球が出現するのはどれか。

1. 再生不良性貧血
2. 消化管出血
3. 鉄欠乏性貧血
4. 溶血性貧血
5. 葉酸欠乏性貧血

53-P-093 我が国におけるメタボリックシンドロームの診断基準に含まれないのはどれか。

1. 中性脂肪
2. 空腹時血糖
3. 収縮期血圧
4. ウエスト周囲径
5. LDL コレステロール

53-P-094 肝炎について正しいのはどれか。

1. A型肝炎の慢性化率は約20%である。
2. B型肝炎ワクチンは感染の予防に有効である。
3. C型肝炎のキャリアはHCV抗原が陽性である。
4. 慢性肝炎の原因ウイルスで最も多いのはB型である。
5. 慢性肝炎においては急性増悪期を過ぎても運動制限を行う。

53-P-095 慢性閉塞性肺疾患の患者の胸部エックス線写真で特徴的なのはどれか。

1. 横隔膜挙上
2. 心陰影拡大
3. 肋間腔の狭小化
4. 肺野の透過性亢進
5. シルエットサイン

53-P-096 注意欠如・多動性障害について正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 薬物療法は行わない。
2. 男児よりも女児に多い。
3. 生育歴の聴取が重要である。
4. 二次性の精神症状に注意が必要である。
5. 成人期において診断されることはない。

53-P-097 驚きなどの情動によって脱力発作が誘発されるのはどれか。

1. 睡眠時驚愕症
2. ナルコレプシー
3. むずむず脚症候群
4. レム睡眠行動障害
5. 睡眠時無呼吸症候群

53-P-098 神経無食欲症について正しいのはどれか。

1. 頻脈になる。
2. 無月経になる。
3. 恥毛が脱落する。
4. 体温が上昇する。
5. 行動が不活発になる。

53-P-099 ACT (assertive community treatment)

について正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 医師を中心としたチームを組む。
2. 毎日24時間のサービス提供体制である。
3. 短時間であっても頻回に利用者への訪問を行う。
4. スタッフ1人当たりのケースを50人程度にする。
5. 地域生活が安定した軽度の精神障害者を対象とする。

53-P-100 うつ病の患者への対応として適切でないのはどれか。

1. 急性期には休息をとらせる。
2. 自殺しないように約束させる。
3. 重要な問題の決定を先延ばしさせる。
4. 抗うつ薬の副作用について説明する。
5. うつ病であることを伝えずに伏せておく。